

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)デルタ工業(株)出島倉庫	階数	地上2F
建設地	広島市南区出島三丁目1-72	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	300 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2015年9月8日
敷地面積	10,623 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	5,247 m ²	確認日	2015年9月9日
延床面積	9,592 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	184	100%
②建築物の取組み	46	63%
③上記+②以外の	92	63%
④上記+	138	63%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	2.7
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.5
耐用性	3.1
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

地球温暖化	4.4
地域環境	3.6
周辺環境	3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 1.8	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 高効率空調機器の採用等建物の熱負荷抑制に努めている / LED照明等の高効率設備機器の採用 / 節水型水栓に加え、節水型便器の採用 / 躯体+軽鉄+仕上材、OAフロアの採用 / LCCO ₂ =63%	設計の計画上特段に配慮した事項 / 駐輪場、駐車場、荷捌き用車両の駐車スペース、出入り口2か所設置	設計の計画上特段に配慮した事項 ステンレスダクトの採用 / 空調・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される